

○麻布大学見学会の様子と生徒の感想



大学概要をご説明いただきました。



本校卒業生による、研究室紹介の様子。サーモカメラも触らせていただきました。

☆生徒から麻布大学の方へのお礼と感想

1年 T.Aさん

動物行動管理学研究室の見学をさせていただきました。理系大学の研究室は顕微鏡が沢山置いてあるというイメージを持っていた私の想像とは異なり、キッチンがあったり刈り上げたばかりの羊毛が置いてあったり、とても面白かった。これまでテレビでしか見たことがないサーモカメラ等の測定機器を、触らせてもらったことは貴重な経験でした。オープンキャンパスでは研究室内の見学はないので、普段は入室が許されない場所を拝見することができ大変貴重な時間だったと思います。

また「いのちの博物館」では、展示されている骨格標本がほぼ本物の動物の骨であると聞いて驚き、新しい気づきが色々ありました。例えば、キリンと人は首の長さが違うのに頸椎の数は全く同じ7個であること、アナコンダのしっぽがとても短いことや顎を外して大きい動物を食べることなど、初めて耳にしたことばかりでした。さらにイルカに指や足があることは骨格を見て初めて気づけたことで、驚きとともに有意義な経験でした。

1年 K.Kさん

8月26日の大学見学会に参加させていただき、ありがとうございました。

初めに大学概要と動物行動管理学的研究室の説明を伺い、麻布大学全体だけでなく研究内容なども理解することができました。池田先生の研究室を見学した際に、「牛の様子からどのような感情が読み取れるか」というクイズがありました。大変面白くて、「動物の行動の研究」という私には馴染みのない学問に興味が沸きました。

ほかにも研究室の活動内容や分析機器の使い方など、横浜清風の卒業生でもある免出さんがとても楽しそうに説明してくださる姿を拝見し、緊張がほぐれ、私も同じようにワクワクしながら大学生活を送る未来を想像しました。

「いのちの博物館」では、展示された動物について担当の方の解説を聞きました。さらに骨格標本に触れるコーナーもありました。実際に骨に触るという経験は滅多にできないので、とても楽しかったです。

重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。



「いのちの博物館」見学の様子。

1年 A.Kさん

麻生大学の先生方のお陰で動物応用科学科や、進学後どのような選択肢があるのか、その可能性を知ることができました。私は理系志望なので、理系関係の話や実習で使用する機械に触ることができて、ますます興味が湧いてきました。

本日は私たちにために時間をとって興味深い話や体験をさせてくださり、ありがとうございました。